

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		酒米生産量の維持が図られる。								
指標	指標名	酒米の生産量						指標の種類		
	指標式	令和3年度酒米の生産量(t)						成果指標 業績指標		
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)									
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	
	目標a				5,000					
	実績b		5,010	データ等の出典						
	東北 全国			農林水産省「農産物検査結果」						
把握する時期		当該年度中		月	翌年度		01月	翌々年度		月

指標	指標名								指標の種類	
	指標式								成果指標 業績指標	
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)									
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	
	目標a									
	実績b			データ等の出典						
	東北 全国									
把握する時期		当該年度中		月	翌年度		月	翌々年度		月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う情勢変化の中、特定需要に対応できる酒米の生産体制を維持していくためには、本事業により、酒米の作付けを減らさずに、酒米生産者の経営の安定化を図る必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 酒米の在庫発生により、酒米以外を作付けした場合、清酒需要が回復しても、その後は他品種が混入する可能性があり、酒蔵からの需要に応えることができなくなるため、本事業により、酒米生産者の不安を払拭していくことが必要である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

酒米づくりの主体は、農業者や集荷団体であるが、秋田県全体で需要に応じた米づくりの取組を進めており、県も積極的に関与していく必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業		その他